

## 大物部品加工の生産性を大幅に向上させる 複合加工機 INTEGREX e-1600V/10

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、大物部品加工の生産性を大幅に向上させる複合加工機 INTEGREX e-1600V/10を発表します。10月30日から開催の第27回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2014)に出展し(シングルパレット仕様:INTEGREX e-1600V/10S)、販売を開始します。

当社が1987年に開発した複合加工機 INTEGREX(インテグレックス)シリーズは、大幅な生産革新をもたらし、複合加工機の代名詞となりました。

その後、船舶、航空機、風力発電、建設機械などの大物部品加工においても複合加工機の需要が高まったことから、当社は複合加工機のトップメーカーとしてのノウハウを生かして、2001年に大物部品加工用複合加工機 INTEGREX e シリーズを発表し、シリーズ拡充を続けてきました。

当機は、複数台の機械により各工程別に加工されていた大物部品を、一台で全工程を完結(DONE IN ONE)し大幅な生産性向上をもたらします。大きな加工領域と重切削への対応だけでなく、タッチパネル式の新CNC装置 MAZATROL SmoothX を搭載し、高機能、高精度に加え、操作性、保守性に優れ、環境負荷も低減しました。

無人化・自動化やシングルパレット仕様など、お客様の様々なご要望にお応えするオプション展開も豊富に揃えています。



スーパーマルチタスキングマシン INTEGREX e-1600V/10

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 営業統括部 広報・販売企画課  
TEL:0587-95-1144 [www.mazak.jp](http://www.mazak.jp)

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。  
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください